



平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 8 月 7 日

上場会社名 株式会社 山武 (コード番号：6845 東証第 1 部)
 (URL <http://jp.yamatake.com/>)
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 小野木 聖二
 問合せ先責任者 役職名 管理部長 TEL：(03)6810-1000
 氏名 外山 史郎

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：有
 連結（新規）0社（除外）2社 持分法（新規）1社（除外）1社

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	43,992	38.4	22	—	250	—	△169	—
18年3月期第1四半期	31,795	3.2	△1,566	—	△1,345	—	△1,113	—
(参考)18年3月期	188,320		13,514		13,938		9,795	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	△2.31	—
18年3月期第1四半期	△15.13	—
(参考)18年3月期	132.52	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
 平成 18 年 3 月期以外の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期の国内経済は、原油価格の高騰による影響が懸念されるものの、企業収益の改善を受けて設備投資が増加し、雇用・所得環境の改善により個人消費も上向くなど、景気は回復基調で推移いたしました。また、海外経済も拡大基調で推移いたしました。

このような経済情勢の中、山武グループの売上高は 439 億 9 千 2 百万円（前連結会計年度末に連結の範囲に含めた金門製作所グループの売上も含めて前年同期比 38.4%増）となりました。損益面につきましても、経費削減やコストダウン等に取り組み、営業利益は 2 千 2 百万円、経常利益は 2 億 5 千万円の利益計上と前期比大幅な改善となりました。（前年同期はそれぞれ 15 億 6 千 6 百万円及び 13 億 4 千 5 百万円の損失）。当期純損益に関しましては、法人税等の負担により 1 億 6 千 9 百万円の損失計上となりました（前年同期は 11 億 1 千 3 百万円の損失）。

なお、山武グループの売上は中間期末及び年度末に集中する傾向があり、例年第 1 四半期の売上の通期売上に対する割合は低くなっております。

事業セグメント別の当第 1 四半期の業績は、次のとおりであります。

ビルディングオートメーション事業

景気回復を受けて、工場空調市場の活況が続くとともに、首都圏を中心に都市再開発などの建設投資が回復しておりますが、低価格競争が依然として継続しております。このような状況の中、新規建物市場におきましては、お客様の省エネ、環境ニーズに対応した営業活動を展開するとともに、既設建物市場におきましては、総合エネルギー管理サービス（ESCO 事業）を活用したソリューション事業の拡大に努めました。この結果、ビルディングオートメーション事業の売上高は 140 億 8 千 5 百万円（前年同期比 25.0%増）となり、利益面でもコスト削減などに努め、営業損益は 7 億 1 百万円の損失と前年同期 20 億 2 千 5 百万円の損失から大きく改善しました。

アドバンスオートメーション事業

企業収益の改善を受け、設備投資が全体的に増加するなど、市場は堅調に推移した中、顧客密着型の営業活動を展開し、お客様の抱える省エネ・環境対策、安全操業の継続、生産性の向上などの課題解決に向けて、多彩なプロダクト製品、並びにソリューション・サービス商品をご提供することにより、事業の拡大に取り組んでまいりました。この結果、アドバンスオートメーション事業の売上高は191億4千5百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益も8億2千1百万円(前年同期22.3%増)の増収増益となりました。

ライフオートメーション事業

前期末に連結の範囲に含めた金門製作所グループの売上が今期より計上されるとともに、ライフアシスト分野(健康福祉関連)におきましても着実に売上高を拡大いたしました。この結果、ライフオートメーション事業の売上高は87億5百万円となりましたが、営業損益は1億7千5百万円の損失となりました。

その他の事業

検査・測定機器等の輸入・仕入販売等につきましては、売上高は23億7千7百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は7千万円(前年同期は1千5百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	206,490	108,493	52.2	1,474.73
18年3月期第1四半期	163,483	97,366	59.6	1,323.48
(参考)18年3月期	217,882	110,858	50.9	1,506.25

(注) 平成18年3月期以外の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

平成18年3月期第1四半期及び平成18年3月期の数値につきましては、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状況は以下のとおり(平成18年3月期第1四半期末との比較)であります。総資産は、増収による受取手形及び売掛金の増加及び金門製作所グループを前連結会計年度末より連結の範囲に含めたことにより、430億6百万円増加しました。また、負債も金門製作所グループを連結の範囲に含めたことを主因として、324億1千1百万円増加しました。純資産は、前連結会計年度において純利益を97億9千5百万円計上したことや、その他有価証券評価差額金の増加により、111億2千6百万円増加しております。なお、当第1四半期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用しており、従来の「資本の部」に含まれなかった少数株主持分7億8百万円を純資産に含めております。今期と同じ基準で比較すると、純資産額は105億9千4百万円の増加となっております。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書
セグメント情報(セグメント別損益、セグメント別受注・受注残)

以上

[参 考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	104,500	5,300	3,000
通期	230,000	15,500	9,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 122円33銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、平成18年8月7日に別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」と同様の内容です。

*業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

【添付資料】

1. (1) 要約連結貸借対照表

資 産 の 部							
区分	当第1四半期 (平成18年6月30日)		前第1四半期 (平成17年6月30日)		増減	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)
流動資産	135,695	65.7	124,045	75.9	11,650	145,965	67.0
現金及び預金	24,479		27,003		△2,524	28,380	
受取手形及び売掛金	67,955		53,025		14,929	79,508	
たな卸資産	26,664		22,739		3,925	21,248	
繰延税金資産	4,944		5,517		△573	5,155	
その他の	12,075		16,113		△4,037	12,102	
貸倒引当金	△424		△355		△69	△429	
固定資産	70,794	34.3	39,438	24.1	31,356	71,916	33.0
有形固定資産	(30,869)	(15.0)	(14,664)	(9.0)	(16,205)	(31,023)	(14.2)
無形固定資産	(6,689)	(3.2)	(1,434)	(0.9)	(5,255)	(6,982)	(3.2)
投資その他の資産	(33,235)	(16.1)	(23,339)	(14.2)	(9,895)	(33,910)	(15.6)
投資有価証券	22,362		13,731		8,630	23,575	
繰延税金資産	1,519		4,605		△3,085	964	
その他の	10,005		5,287		4,717	10,002	
貸倒引当金	△651		△284		△366	△631	
資産合計	206,490	100.0	163,483	100.0	43,006	217,882	100.0

(注) 当第1四半期並びに前第1四半期の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

負債、少数株主持分及び資本の部							
区分	当第1四半期 (平成18年6月30日)		前第1四半期 (平成17年6月30日)		増減	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)
流動負債	71,564	34.7	51,547	31.5	20,017	79,902	36.7
支払手形及び買掛金	36,782		29,606		7,176	38,688	
短期借入金	14,151		2,322		11,829	13,956	
賞与引当金	3,734		3,350		384	8,011	
その他	16,895		16,268		627	19,245	
固定負債	26,432	12.8	14,037	8.6	12,394	26,438	12.1
長期借入金	7,887		1,572		6,314	7,913	
退職給付引当金	16,371		11,768		4,602	16,269	
役員退職慰労引当金	150		56		94	141	
その他	2,023		640		1,382	2,114	
負債合計	97,996	47.5	65,584	40.1	32,411	106,341	48.8
少数株主持分	-	-	532	0.3	-	682	0.3
資本金	-	-	10,522	6.4	-	10,522	4.8
資本剰余金	-	-	12,647	7.8	-	12,647	5.8
利益剰余金	-	-	70,960	43.4	-	80,471	37.0
その他有価証券評価差額金	-	-	3,289	2.0	-	7,164	3.3
為替換算調整勘定	-	-	△46	△0.0	-	59	0.0
自己株式	-	-	△7	△0.0	-	△8	△0.0
資本合計	-	-	97,366	59.6	-	110,858	50.9
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	163,483	100.0	-	217,882	100.0
株主資本	101,211	49.0	-	-	-	-	-
資本金	10,522	5.1	-	-	-	-	-
資本剰余金	12,647	6.1	-	-	-	-	-
利益剰余金	78,049	37.8	-	-	-	-	-
自己株式	△8	△0.0	-	-	-	-	-
評価・換算差額等	6,574	3.2	-	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	6,452	3.1	-	-	-	-	-
為替換算調整勘定	121	0.1	-	-	-	-	-
少数株主持分	708	0.3	-	-	-	-	-
純資産合計	108,493	52.5	-	-	-	-	-
負債純資産合計	206,490	100.0	-	-	-	-	-

(注) 当第1四半期並びに前第1四半期の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

1. (2) 要約連結損益計算書

区分	当第1四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年6月30日〕		前第1四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年6月30日〕		増減	前連結会計年度 〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)		金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	43,992	100.0	31,795	100.0	12,197	188,320	100.0
売上原価	28,223	64.2	19,120	60.1	9,103	115,551	61.4
売上総利益	15,768	35.8	12,675	39.9	3,093	72,769	38.6
販売費及び一般管理費	15,745	35.7	14,241	44.8	1,504	59,254	31.4
営業利益	22	0.1	△1,566	△4.9	1,588	13,514	7.2
営業外収益	359	0.8	284	0.9	74	623	0.3
営業外費用	131	0.3	63	0.2	67	199	0.1
経常利益	250	0.6	△1,345	△4.2	1,596	13,938	7.4
特別利益	-	-	540	1.7	△540	3,262	1.7
特別損失	60	0.2	575	1.8	△515	1,550	0.8
税金等調整前四半期(当期)純利益	190	0.4	△1,380	△4.3	1,570	15,650	8.3
法人税、住民税及び事業税	192	0.4	101	0.3	90	4,735	2.5
法人税等調整額	131	0.3	△399	△1.2	530	969	0.5
少数株主利益	36	0.1	31	0.1	5	149	0.1
四半期(当期)純利益	△169	△0.4	△1,113	△3.5	943	9,795	5.2

(注) 当第1四半期並びに前第1四半期の各数値は監査法人による監査を受けておりません。

2. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期

	ビルディング オートメー ション事業 (百万円)	アドバンス オートメー ション事業 (百万円)	ライフ オートメー ション事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	14,085	19,145	8,705	2,377	44,313	△321	43,992
営業費用	14,786	18,324	8,880	2,307	44,298	△328	43,969
営業利益	△701	821	△175	70	14	7	22

前年同四半期

	ビルディング オートメー ション事業 (百万円)	アドバンス オートメー ション事業 (百万円)	ライフ オートメー ション事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	11,272	17,418	1,041	2,256	31,988	△193	31,795
営業費用	13,297	16,747	1,272	2,240	33,556	△195	33,361
営業利益	△2,025	671	△230	15	△1,568	1	△1,566

3. 受注の状況

当第1四半期

	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
ビルディングオートメーション事業	35,256	108.0	50,404	107.7
アドバンスオートメーション事業	24,802	107.8	31,948	109.7
ライフオートメーション事業	9,728	949.6	1,874	398.5
その他	3,211	109.9	1,748	111.2
計	72,998	122.5	85,975	110.3
消去	(499)	—	(504)	—
連結	72,498	122.5	85,471	110.5

事業区分の方法

山武グループの内部管理区分をベースに、製品の系列及び市場等の類似性を考慮して、ビルディング・オートメーションを中心とする「ビルディングオートメーション事業」、プロセス・オートメーション、ファクトリー・オートメーション及び制御機器販売を中心とする「アドバンスオートメーション事業」、生活、環境基盤に密着した分野へオートメーション技術を展開する「ライフオートメーション事業」、並びにこれらの事業以外の「その他」に区分しております。

なお、前連結会計年度末において連結の範囲に含めた株式会社金門製作所及び同社の連結子会社を「ライフオートメーション事業」として区分し、併せて、従来、「その他」に含めていたケアサービス、一般住宅向け空調システム製品及び環境関連事業を「ライフオートメーション事業」に変更しております。

なお、前年第1四半期のセグメント情報は事業区分を変更して表示しております。

(参考) 最近における四半期毎の業績の推移

平成 19 年 3 月期 (連結)

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
	自 平成 18 年 4 月 至 平成 18 年 6 月	自 平成 年 月 至 平成 年 月	自 平成 年 月 至 平成 年 月	自 平成 年 月 至 平成 年 月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売 上 高	43,992			
売 上 総 利 益	15,768			
営 業 利 益	22			
経 常 利 益	250			
税金等調整前当期純利益	190			
当 期 純 利 益	△169			
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	△2.31 円			
潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益	—			
	百万円			百万円
総 資 産	206,490			
純 資 産	108,493			
1 株 当 たり 純 資 産	1,474.73 円			

(注) 各数値は監査法人による監査を受けておりません。

平成 18 年 3 月期 (連結)

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
	自 平成 17 年 4 月 至 平成 17 年 6 月	自 平成 17 年 7 月 至 平成 17 年 9 月	自 平成 17 年 10 月 至 平成 17 年 12 月	自 平成 18 年 1 月 至 平成 18 年 3 月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売 上 高	31,795	52,738	34,363	69,423
売 上 総 利 益	12,675	20,006	13,652	26,435
営 業 利 益	△1,566	5,624	△735	10,192
経 常 利 益	△1,345	5,639	△560	10,205
税金等調整前当期純利益	△1,380	7,940	△844	9,934
当 期 純 利 益	△1,113	4,989	△804	6,723
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	△15.13 円	67.82 円	△10.94 円	90.76 円
潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益	—	—	—	—
	百万円	百万円	百万円	百万円
総 資 産	163,483	167,289	168,939	217,882
純 資 産	97,366	104,109	103,881	110,858
1 株 当 たり 純 資 産	1,323.48 円	1,415.13 円	1,412.04 円	1,506.25 円

(注) 各数値は監査法人による監査を受けておりません。

平成 18 年 3 月期第 1 四半期から第 4 四半期の数値につきましては、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「1 株当たり株主資本」を「1 株当たり純資産」の欄に記載しております。